

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ナノデス・グラスプⅡ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.501	△RG 0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ナノデス・グラスプⅡ

フレアーの幅
[] インチ

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

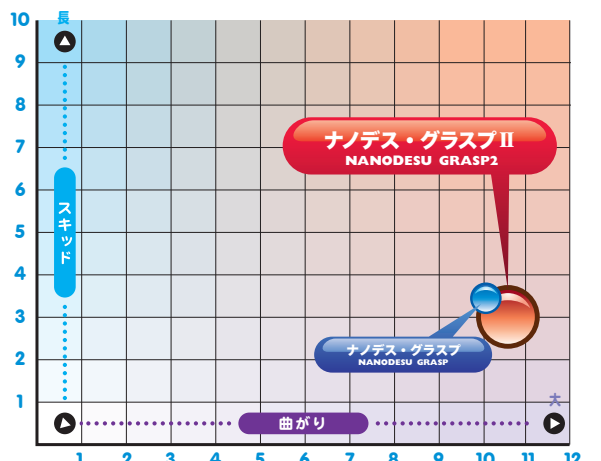
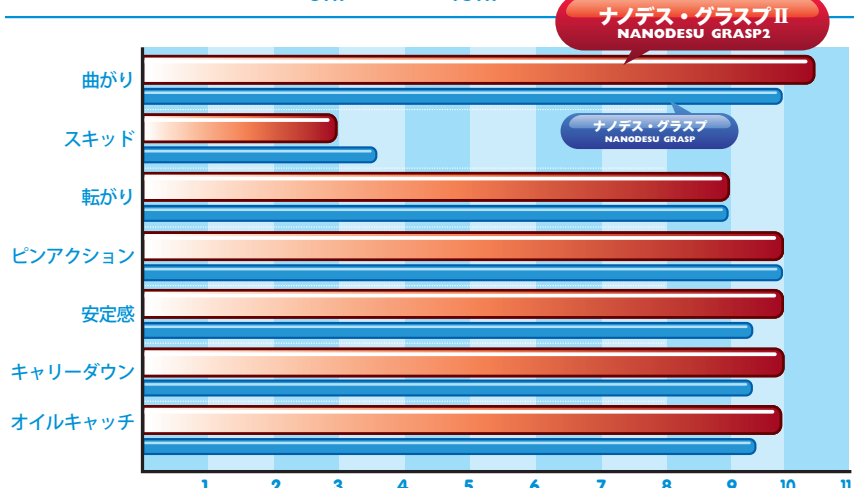
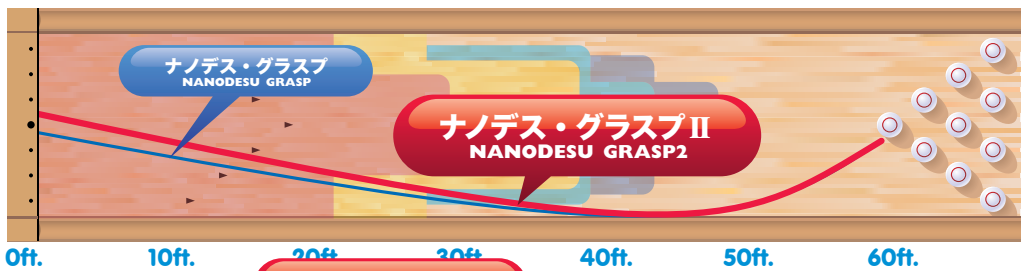
比較対照ボール：ナノデス・グラスプ

フレアーの幅
[] インチ

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

Nanodesu GRASPのコンセプトは、Nanodesu Accu-Riseシリーズでオイルの長さや量に太刀打ちできない状況の時、最も有効的に厚いオイルでも使用できることを目的で開発されました。前作Nanodesu GRASPは表面も3000アブラロンで曇っていてゴリゴリのヘビーオイル向けのスペックでしたが、幅広い層のポワラーに受け入れられ、予定個数を大幅に上回り増産しました。今回発売するNanodesu GRASP 2はスペックはそのままに配色をRED Solidにしての発売です。

Nanodesu GRASP 2に搭載されているカバーストックは前回同様国産最高のNano-Thane 6.0 Solid(Level6)で、コアのスペックもそのまま採用しました。テストングにおける両者の違いは「ただ配色違いだけで片付けられるものとは違う」性能の差を感じました。このRED Solidで発売を決めた理由が前作のGRASPとしっかり違いが出ており、「止まる・向く」のイメージが明確に性能として表れているからです。比較投球でもNanodesu GRASP 2のほうがブレーキングが早く、曲がり幅もその分大きく感じます。それでいてピンヒットまで一切減速感が出ないのが、ただ曲がるだけのボールの類とは違う、国産ならではの拘りの逸品の証であり、それをもってNanodesuシリーズであると私は言えると思います。Nanodesuチームキャプテン田坂大輔プロのテストドライブでは、初代GRASPとGRASP2との差は表面を再度曇らせたときに大きく違いが出るかと考察しています。

初代GRASPは先でややキレルイメージがありますが、そこから表面を曇らせると動き自体が大きく変わってしまいますが、GRASP2はイメージを変えることなく「止まる・向く」を前後に変えることができます。彼曰くトーナメントで一番上で持っていくボール。との報告がありました。田坂プロは直進力が強いポワラーですが、しっかりとブレーキングできると言えるほど、今度のGRASP2はヘビーオイルで十分活躍してくれるボールでしょう。

特記事項

前作同様の国産最強のNano-Thane 6.0の#3000サンディングでクラス最強のオイリー用スペック。初代GRASPより「止まる・向く」が明確になり、オイルを切り裂きます！